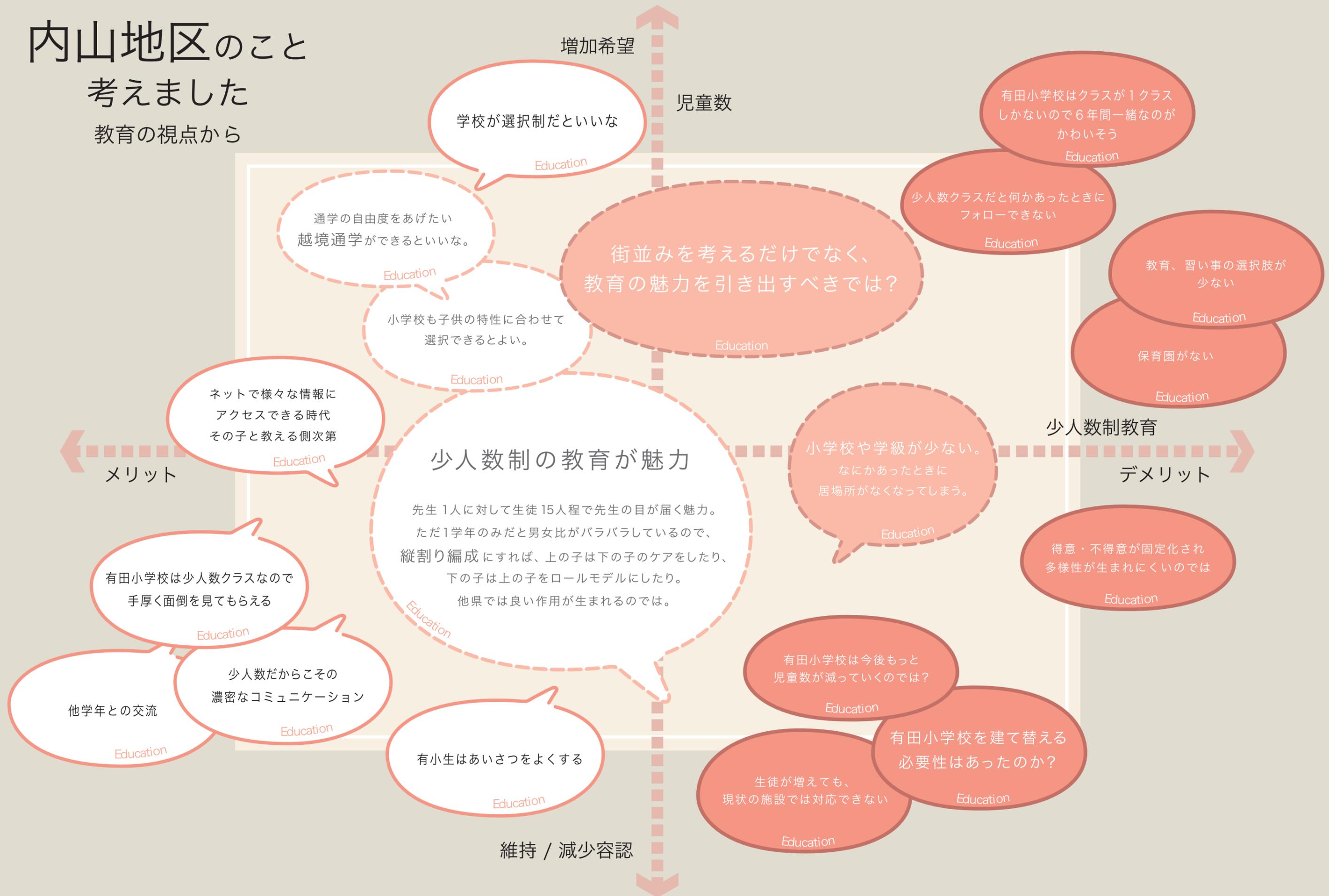


内山地区のこと 考えました 教育の視点から





流動

停滞

生活

観光

観光感 < 生活感

外からすると観光地かもしれないが
住民にとっては暮らしの延長

**ファミリーが住める
賃貸がほしい!**

外への魅力発信ではなく、
安心して生活(経済活動)できることを
伝えることが大切ではないか。

本当は内山地区に戻りたいという話は
同窓会でよく耳にするけど、
空き家がなくて戻れない同級生が多い。

**高齢者やまちの人にもっと
空き家の取り組みを伝えるべき**

実はネットに載っていない空き家情報をもつのはまちの高齢者。
その人たちの情報を開いていけるように
空き家見学ツアーをイレブンテレビの番組にする、
かわら版にして回覧するとか、
もっとまちの中に発信すべきでは。

不利益(ふべんえき)

=不便だからこそ、いろんなものが集まったら
いいアイデアが生まれたりする、という概念。

**内山地区のこと
考えました**

家・生活の視点から

内山での暮らしのライフハック的な
情報があればいいと思う

車のスピードが出過ぎている
子供も遊ばせるには怖い

岩崎踏切が右折できないため
国道へのアクセス路となる

トラックが多く通り危険
生活できる通りにっていない

踏切の一時停止よりも
内山の通りのスピード違反を
取締るべきでは

観光地と生活空間のバランスが大切
観光地がどういうゴールをイメージ
しているのかが重要

観光客が来るのはいいが、
生活エリアは侵さないでほしい

もっと楽しい場所が増えれば
歩くことも苦にならないのでは

目的地のすぐ隣にないと
駐車場がないと思っている

駐車場がないというのは
誰目線?

内山の通り沿いにある駐車台数
は約700台、パークシェアリング
ができれば駐車場は十分に足りている

尾道や他の伝建地区での
事例が知りたい

陶器市にも
移住相談コーナーを!

なかの人が住みやすいと思えば、
自然と広まり魅力は伝わるのでは。
あとは、住う場所を提供できるか。

車が飛ばしていて、歩道が狭い。

生活感と観光感のバランスが悪い

路上駐車が多い

ファミリー向けの賃貸がない

古民家は住みこなすには
ハードルが高い

ゴミ袋に記名必須なのに
移住者としては抵抗がある

仏壇問題

空き家バンクが情報源として
機能していない

再建築不可物件、土地が多い
土地活用が循環しない

まちに流動性がない。
(土地だけでなく技術なども)
空き家はあるが入れ替わる
準備がされていない。

しんとした空気感が
有田内山独特の魅力

人の気配がまばら

建物があり店構えもあるのに
人がいない・シャッターが降りてるのが
かえって寂しく感じる

どこを歩いても
街並みがきれい

薄い点線囲みは2021年2月17日に実施した住民ヒアリングであつまった声をまとめたもの。濃い実線囲みは2021年6月4日の第1回 有田内山ランドデザイン検討部会のワークショップでの意見。